



北海道森林管理局

発行日 2007/04/24

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

インフォメーション

当ふれあいセンターは国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り組むNPO等の活動支援や森林環境教育等のフィールドの提供、技術指導などを行っています。

「地球温暖化防止と森林の役割」を題材にして学習プログラムを作成

当センターでは森林・林業に関することを学校教育に取り入れて貰うため森林環境教育検討会を開催しました。

検討会は、北海道教育大釧路校の先生や釧路市元教育長、釧路市こども遊学館館長、また学校の先生方の集まりである教育研究会からのメンバーを含む8名で構成され、昨年9月から今年の1月まで3回開催しました。

委員の皆さんからご意見を頂きながら、①地球温暖化防止と森林の役割、②小学校の高学年を対象、③10時間程度の総合学習用として、先生方が直ぐにでも活用できる形の学習プログラムとなるよう検討しました。

今回、これまでの検討結果を報告書として取りまとめ、先生方が総合学習で「地球温暖化」を取り上げる場合、先生とふれあいセンターがどのような役割を持って授業を行うのか、そのメニューを具体化しました。

この報告書については、4月～5月の校長会で管内の各小中学校に紹介する予定です。



目次

総合学習参考資料		
地球温暖化と森林について	1
<資料編>		
資料1：日本沿岸および近海の海面水位	9
資料2：海面上昇（ツバル国の現状）	11
資料3：氷河の消失（ヒマラヤ氷河の現状）	13
資料4：異常気象（佐呂間島の竜巻被害）	15
資料5：地球温暖化の影響予測（世界）	21
資料6：地球温暖化の影響予測（日本）	22
資料7：地球温暖化ってなあに？	23
資料8：釧路の気温も上がっている？	31
資料9：家庭でできる温暖化対策	32
資料10：森林教室（イメージ）	33
資料11：森林と身近な樹木	39
資料12：1本の木は二酸化炭素をどのくらい貯えているのか？	43
資料13：森林のもつ二酸化炭素吸収・貯蔵機能について	46
補足資料：地球温暖化を考える（先生のためのガイドブック）	47



第7回森林再生小委員会で実施計画（案）を説明～

～釧路湿原自然再生協議会における活動～

当センターでは、雷別地区国有林内の気象害によるトドマツの立ち枯れ被害跡地を森林に再生するための具体的な方法を検討してきましたが、これまでの調査結果等を踏まえ森林再生小委員会において「雷別地区自然再生事業実施計画」(案)を説明し協議していただきました。

実施計画（案）の内容については、広葉樹主体の森林づくりであることからエゾシカ対応や植栽樹種の選定方法等についての意見が出されましたが、概ね了承していただきました。

今後、これらの意見を踏まえて実施計画（案）の修正を行い、平成19年度の最初に開催される釧路湿原自然再生協議会で協議を行い最終決定される予定です。当センターの大きな柱である雷別地区における自然再生に関する実施計画が策定される見通しとなりましたので、計画に沿った具体的な取組を実施していきたいと考えています。



転入者紹介

(転出) 森實 祐子 (林野庁へ)

(転入) 中島 章文 (四国森林管理局より)

「4月1日付けで四万十川ふれあいセンター（四国）から釧路湿原ふれあいセンターにやって参りました。フィールドを取り巻く環境は大きく変わりますが、森林再生・森林環境教育の本質は変わらないと思いますので、これまでの経験を生かして頑張りたいと思います。よろしくお願いします。」(中島)

ご意見ご要望がございましたら下記までお知らせ下さい。

北海道森林管理局 指導普及課

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825

釧路市千歳町6-11 (根釧西部森林管理署内)

TEL 0154-44-0533

Fax 0154-41-7305

URL : http://www.hokkaido.kokuyurin.go.jp/fc/kushiro_hp/

E-mail : h_kushiro_f@rinya.maff.go.jp